

部門を越えたシステムの統一と、どんな立場であっても一目瞭然で
検査情報を確認できる見やすさが好印象の診療データ統合管理システム「STELLAR」



松本副院長

導入経緯

**各種検査部門の垣根を越えて
データの一元管理が可能なシステムの導入**

今回は放射線システムの更新と同じタイミングで電子カルテの導入もあり、様々な統合システムを見てみましたが、アストロステージの診療データ統合管理システム STELLAR は、部門を越えてもシステムが統一であること、医師や看護師、技師、事務のどの立場であっても一目瞭然で検査情報を確認できる見やすさが、好印象でした。

我々の施設では、各種検査部門のほか、健診センターも構えているため、やはり患者様単位の診療情報の共有や、職員が安心して操作できる環境が、低コストで実現できるかが現場から求められるポイントでした。導入にあたり、電子カルテメーカーや PACS メーカー独自の診療統合システムを見ました。実はアストロステージの STELLAR を見るきっかけになったのは、生理部門が始まりでした。各社のデモンストレーションを拝見し、やはり、それぞれ診療データや画像データなど偏りがちな部分も感じる中、自分たちが目にした STELLAR は、画像データや所見レポートの他、検体検査の数値データや心電図データ、また、文書系もスキャンシステムを活用し一元管理が実現できるシステムでした。さらに、循環器動画像も1サーバで集約しているため、ランニングコストの心配や、今後部門システムの拡張も可能な事が大変メリットを感じられました。

病院にとって必要かつ十分な情報システムを適正な価格で調達することは非常に難しい課題でしたので、御社営業マンからの助言もいただきながら、さまざまな仕様を検討して、最終段階での提案、提示価格などを総合的に評価した結果、アストロステージに決めました。

導入システム

- DICOM 画像管理システム **Nazca**
- 診療情報統合システム **STELLAR**
- ドキュメント作成&管理システム **STELLARReport**
- 画像キャプチャシステム **ARKGate**

導入効果

**患者様の状況をスピーディーに把握でき、
医師やスタッフの業務が効率化**

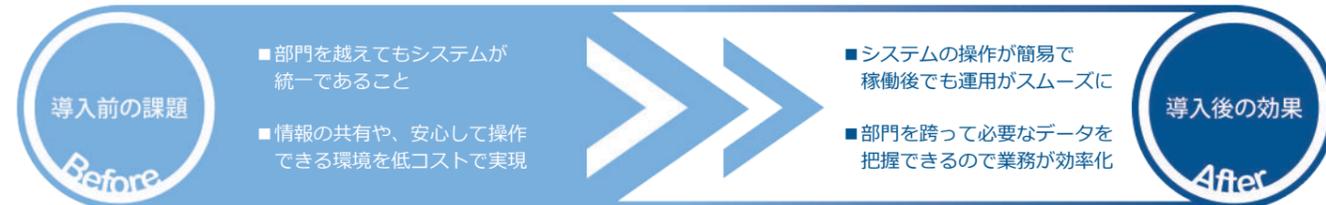
STELLAR はアイコンや表記が印象強く、視覚へ訴えかけてくる効果があります。なんとなく操作を予測することができ、実際に操作の簡易性があります。そのため稼働後でも運用はスムーズでした。

放射線画像、内視鏡、生理検査など様々な部署で発生する画像と、レポートが一画面に時系列表示され、必要な情報を手軽に閲覧できるようになり、医師やスタッフの評価も非常に高いです。

患者様を長期的に見ていく際にはとても有効に活用されます。定期的に検査をしなければならない患者様の場合、STELLAR では過去レポートの参照、画像データを見ること、素早く比較が行え、そこから次の検査内容を考えることができます。各部門の必要性の高いデータが全て入っているため、患者様の状況をスピーディーに把握するのに役立ちます。業務効率化により医師やスタッフも大変満足しています。最先端の医療設備とともに快適な環境を整えることで、患者様へのサービスの一層の向上も実現しました。



スタッフの皆さん



済生会広島病院：システム導入時期 / Nov 2013



当院は急性期医療を中心に提供していますが、それだけではなく急性期から慢性期に至る地域医療、無料低額診療、介護老人保健施設や特別養護老人ホームなどの介護施設との連携、健康診断など医療、福祉、保健を包括的に提供しています。

医療の質と病院機能の向上のため、医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価する病院機能評価機構による病院機能評価を受審し認証を受けました。また病院は患者様の医療情報をはじめとした個人情報の有効な活用と保護によって医療の質を上げるとともに皆さまから信頼していただくことができると考えています。そのため情報管理システムの国際規格である「情報セキュリティマネジメントシステム」による認証 (IOS27001) を取得いたしました。

地域の方々が安心して受診して頂ける病院を目指して職員一同日夜励んでまいります。

所在地：広島県安芸郡坂町北新地 2-3-10

病床数：330 床

診療科：内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・外科・消化器外科・呼吸器外科
乳癌外科・大腸/肛門外科・腫瘍外科・整形外科・形成外科・脳神経外科
小児科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

今後の方針

色々な新システムを導入したばかりなので、慣れるまでは使い込んでいきたいと思います。将来的にはこれらの新しいデータ活用ができるように拡張し、地域医療連携へ活動を広げていく事も考えています。

今後の期待・要望

実績が少なくメーカー側の知識が浅く駆け出し的な部分があると感じます。そこは日々勉強をしながら知識を深めていただきたいです。部門システムをなくすコンセプトはとても魅力的です。これからもシステムの成長を目指し医療の質・患者様へのサービスの向上に繋がるシステム作りに励んでいただければと思います。

システム構成図

